

# 柏葉健児

—背番号10— (2000年)

市川正孝先生・渡辺三明先生追悼特集号

## 目 次

歴代部長名簿		1
巻頭言		2
野球狂人生	市川 正孝 (S33)	3
（薬局長百人選 IX, 薬事新報社 平成3年1月発行より）		
大同団結なる！	渡辺 三明 (S42)	5
（柏葉健児—背番号9— 昭和61年2月発行より）		
まだ早すぎる	古川 淳 (S25)	6
まだ信じられない	古川 淳 (S25)	7
お二人の想い出	山戸 寿 (S30)	9
故市川正孝教授との想い出	今泉 貴世志 (S31)	9
お世話になった両先生	長田 雅子 (S32)	11
市川正孝氏の想いで		
一青春、野球そして長崎一	西脇 金一郎 (S33)	13
青春の想い出—故市川正孝兄を偲ぶ—	角田 正之 (S33)	14
市川先生を偲んで	工藤 二郎 (S33)	16
市川君、安らかに眠りたまえ	富田 達也 (S33)	19
市川先生・三明先生のこと	高木 康 (S35)	20
市川先輩との出会い		
（あの時は痛かったぜ。市川さん）	大塚 保雄 (S35)	21
渡辺三明先生を悼む	大塚 保雄 (S35)	24
市川先生と渡辺先生を偲んで	永田 了一 (S36)	25
両先生と長薬抜天会・広島支部	橋口 信彦 (S36)	26
市川先生との想い出	吉田 研次 (S37)	28

市川正孝先生とタバコ	左利 龍彦 (S38)	29
市川・渡辺両先生を偲んで	山本 浩三 (S39)	30
三明先生と野球と私	加嶋 奎一 (S45)	32
「三明さん」と「PASSION」	青野 真 (S51)	33
市川先生の想い出、渡辺先生との約束	板倉 忠則 (S51)	34
三明さん・市川先生の想い出 （感謝を込めて）		
回想 一三明先生を偲んで一	高田 充隆 (S52)	35
渡辺投手と市川投手の想い出	松野 康二 (S52)	36
市川先生と渡辺先生の想い出	大木 豊 (S52)	37
渡辺三明先生の想い出	中牟田 弘道 (S53)	38
市川先生と渡辺先生を偲んで	吉田 泰史 (S55)	39
偉大なる両先輩との想い出	中嶋 幹郎 (S57)	40
ソフトボール	宮下 孝志 (S59)	41
渡辺先生との出会いと別れ	松岡 芳樹 (S62)	42
渡辺先生の想い出	池沢 竜平 (S62)	42
渡辺三明先生の想い出	塙崎 雅雄 (S62)	45
渡辺三明先生を偲んで	山田 正紀 (H5)	46
無題	松元 幸平 (H5)	47
渡邊先生との想い出	森本 仁 (H5)	48
三明先生の想い出	千代丸 康重 (H5)	50
医薬品合成化学教室の朝	小畠 滋 (H6)	50
長薬野球部のお二人	吉本 雄祐 (H6)	51
偉大なる先生方との想い出	宗安 正俊 (H7)	52
師匠	赤嶺 (平井) 貴子	
三明先生、市川先生を偲んで	樹田 希 (H7)	53
卒業・就職時お世話になった二人	日宇 宏之 (H7)	54
渡辺三明先生を偲んで	坂本 明夏 (H8)	54
名ノッカー!!	小松 和恵 (H8)	55
私の良き理解者、三明（さんめい）先生	中田 一成 (H9)	56
市川・三明両先生に誓って	平良 文亨 (H9)	58
渡辺三明先生へ感謝の気持ちを込めて	林田 壮一郎 (H9)	59
	日良 国寛 (H10)	60
	長谷 彰子 (H13)	61

編集後記

伊藤 潔 (S59)

長崎大学薬学部野球部同窓会発行

## 長崎大学薬学部野球部歴代部長

吉 村 実	自	昭和 23 年
	至	昭和 35 年
高 畠 英 伍	自	昭和 36 年
	至	昭和 37 年
谷 山 兵 三	自	昭和 38 年
	至	昭和 45 年
小 西 良 士	自	昭和 46 年
	至	昭和 57 年
渡 辺 三 明	自	昭和 58 年
	至	昭和 63 年
古 川 淳	自	平成元年
	至	平成 4 年
伊 藤 潔	自	平成 5 年
	至	現 在

## 長崎大学薬学部校歌（三番）

八波 則吉 作詞

人寿つながる 千古の秘奥  
開かでやまじと四時に貫く  
「柏葉建児」が燃えたつ意氣を  
稲佐ヶ丘の夕陽赤し  
強し 強し 我等が自信

## 卷頭言

吉田俊之（昭和 24 年卒）作

想いを遠く 青雲の彼方に馳せては  
血潮の高鳴りて 頗りなるを  
朝に秀峯雲仙を仰ぎ  
夕に有明湾頭不知火の発する所  
柏樹亭々として碧空に聳え  
風習々として清新の氣 充つ  
伝統の光彩 炳乎として遍し  
嗚呼 清き忍従の三歳の旅よ  
君 聞かずや黎明に乱打する世紀の警鐘を  
余韻嫋々として  
暁闇の静寂を衝いて流るる覚醒の響を  
嗚呼 若き日の感激 ゆきて再び還らず  
三歳の友は忘るるとも

今日の集いの感激は忘るまじ  
起て 柏葉ヶ丘の健男児  
いざや立ちて 宴の庭にひた酔わん  
歌わんかな 歌わんかな 我等が歌